事業所名	発達支援キャンパス		支援プログラム	作成日	2024 年	12 月	1 日	
法人（事業所）理念	私たちは、発達障害またはその疑いのある子どもたちが、ひとりひとりの強みや「考える力」、「コミュニケーション能力」を伸ばし、自立した生き生きとした人生を歩めるよう支援します。 また、地域で安心して生活できるよう、ご家族・地域・行政を結び支援拠点となります。							
支援方針	【こどもの本来の力を信じて引き出す】 こどもは、生まれながらにして素晴らしい力を持っています。その力を存分に発揮できるようになるためには、その子自身をよく理解し、寄り添える大人が必要不可欠です。キャンパスでは、お子さまの興味関心やその日のコンディションまでしっかりと把握し、楽しい時間の中で成長していけるよう、完全オーダーメイドのプログラムを作成しています。得意なところを伸ばすことにより、自信がつくことで、苦手なところにも少しずつ向き合えるようにしていきます。							
営業時間	火曜日 ～ 土曜日	9 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	個別療育			グループ療育（小集団療育）				
	健康・生活	お子さまの課題を見極め、得意なことを中心にプログラムを組みます。一人ひとりに合った環境設定と教材で、療育を行っています。			小さな集団で‘集中して取り組める製作’や‘ルールのあるゲーム’など、静と動の活動をバランスよく盛り込み、「お友達と関わることが楽しい！」という気持ちを育てていきます。			
	運動・感覚	一人一人の発達課題に応じて、描画やハサミなどを使った微細運動、運動遊具を使用した粗大運動をバランスよく取り入れながら、協調運動の基礎を培い、自己肯定感の向上につなげます。			巧技台や一本橋などの運動遊具を使用し、様々なからだの使い方を習得します。楽しみながら、順番待ちや譲り合いなどのルールも学ぶことができます。			
	認知・行動	お子さまの発達段階に合わせた「認知学習プログラム」を言語・数・空間認知・SST（ソーシャルスキルトレーニング）などに細かく分類して担当者（原則固定）が毎回作成します。スモールステップで、楽しく取り組める工夫をしています。			活動の流れを理解し、主体的に活動に取り組むことで、自己表現の方法やお友達との関わり方を習得していきます。			
	言語 コミュニケーション	大人との信頼関係を築いた上で生まれるコミュニケーションを大切に、そこからことばの理解を育んでいきます。			小さな集団で一緒に過ごしていく中で、お友達と向き合う楽しさを知っていきます。小さなもめごとなども、コミュニケーションを深めるためのSSTと捉え、子ども同士が関わる機会を多く作っています。			
人間関係 社会性	大人との信頼関係を築き、人と関わる楽しさを育みます。苦手なことも、大人が寄り添い、支えることで前向きに取り組む力につなげます。			年齢に応じて、活動内容や目標を決め、様々な経験を通して、大きな集団で適応していける土台を育んでいきます。				
家族支援	療育を見学していただき、個別・小集団ともに終了時にフィードバックの時間を設けています。ご家庭や所属機関でのご相談にも、出来る限り対応しています。			移行支援	年齢に応じた発達支援を心がけ、就学の際の移行支援などにも丁寧に相談に応じ、対応をしています。			
地域支援・地域連携	所属機関や就学先の情報収集をして保護者さまと共有し、必要に応じて、各機関と連携を取ったり、お子さまの支援方法などをお伝えしています。			職員の質の向上	法人研修・新入時研修はもちろんのこと、療育の質の向上を目指し、日々の職員全員での情報共有・振り返りを大切にしています。			
主な行事等	キャンパスの夏祭り キャンパスの茶話会 キャンパスのクリスマス ※状況によりイベントの開催は変更や中止することがあります							